

ソロハンターの生態 WORLD 12



adult only
Yokohama Junky



前回までのあらすじ

女だけの暴力集団プエラ・ドラクオの本拠地に攫われた女ハンターは脱出のために、女隊長との一騎打ちに挑む

互角の体術を發揮する女ハンターだったが
女隊長が密かに張り巡らせた目に見えぬ細い針の糸に体を絡め取られ、敗北する

2回目

アファ
お前はたして
何回目の被頂で
脱落するかな？

3回目

肉体的競争に任せれば
勝算はなかろうでも
この女を仕留められる

『敗者は勝者の物になる』そのプエラの掟通りに女ハンターは女隊長の慰み者にされる

無限とも思えるほどの女隊長の尽きぬ性欲を体で受け止め、憔悴していく女ハンター
彼女の前に意外な人物が現れる、その男はかつて彼女が囚われていた娼館で
女を処分していた下賤の輩だった

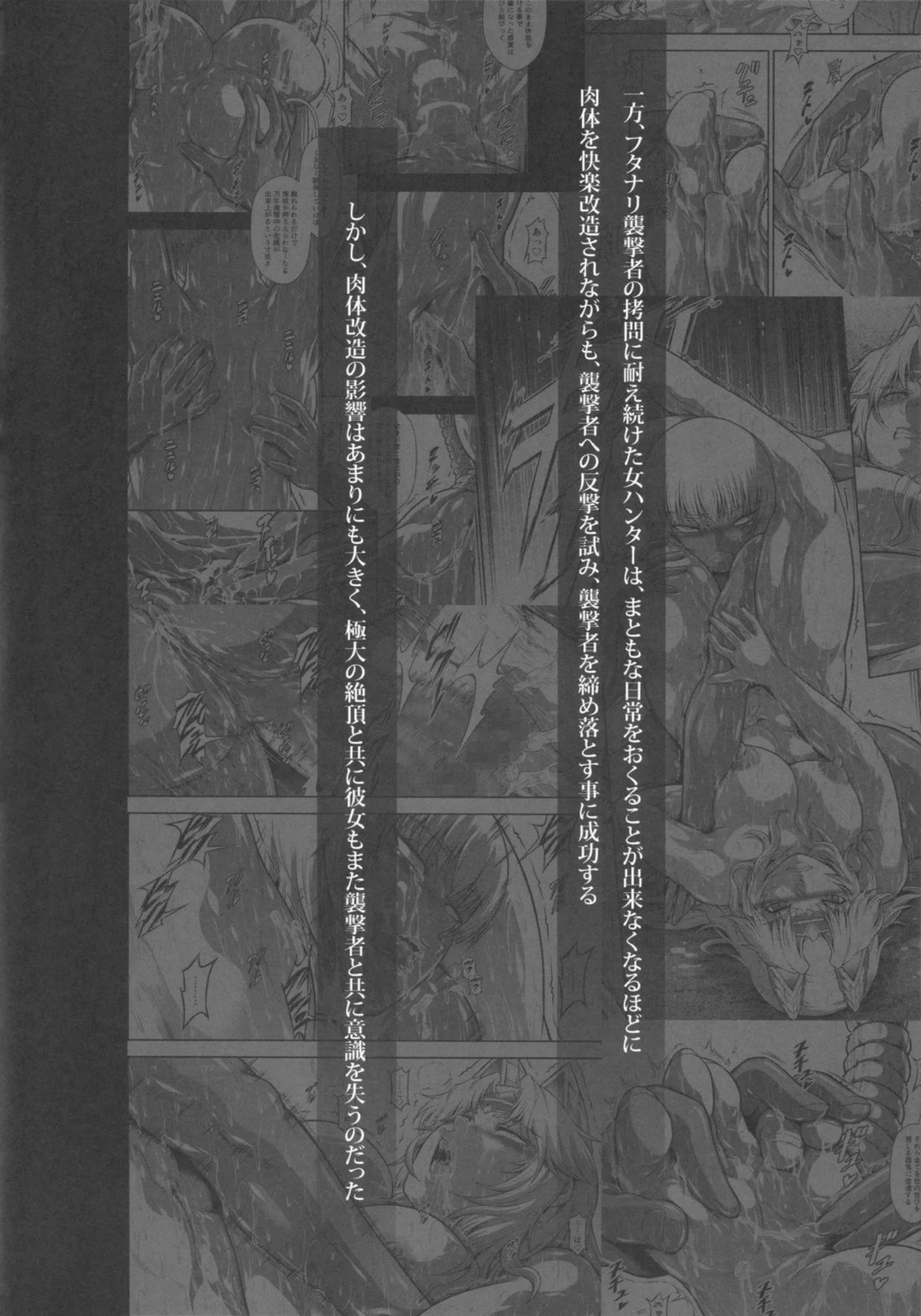
女ハンターの肉体に注入される謎の薬物、恐怖と快楽が限界に達した彼女は
女隊長に抱かれながら極限の絶頂と共に意識を手放した

シツレいした
トリゴみ子もたつたかな？

ああ 来た

女同士であっても
雌雄は決する

はたして、勝つていけるか
運命の女神は、誰の手にあるのか



一方、フタナリ襲撃者の拷問に耐え続けた女ハンターは、まともな日常をおくることが出来なくなるほどに
肉体を快樂改造されながらも、襲撃者への反撃を試み、襲撃者を締め落とす事に成功する

しかし、肉体改造の影響はあまりにも大きく、極大の絶頂と共に彼女もまた襲撃者と共に意識を失うのだった





しかし思い通りに
体を動かすことが出来ない

肉体を改造された後遺症が
想像以上に厳しい



早く……早く……
この場所を離れなくては……
あの女が目覚ましたら
今度こそ終わりだ……



あの女の言った通りだ
歩くだけで快楽に
苛まれる

そして酷く強い
性的な欲望が
湧き上がってくる



押さえ込め……
これは私に一生
付きまとう呪いだ



流されるな
性欲などコントロール
出来るはずだ





.....私は
.....私は何を.....している？



.....ス

おふう.....



.....ス



気持ち良い.....
なんて幸福感だ.....

ペニスを貪るのを
どうしても止められない

1回だけ.....
1回だけイッたらこの場を離れよう
1回絶頂するくらい平気なはずだ



もし私が見込みより早くこの女が覚醒してしまったら……

せめて声を…声を抑えなければ



そうになったらもう脱出のチャンスなど無くなってしまふ

今度こそ私は完全にこの女の肉便器に……



自分の立場を完全に分からされる

徹底的に打ちのめされ



この女の肉便器となった私は
快楽の為のあらゆる方法を
この体で試される

私はもう抗う意志など持てない
この女の思いがままに肉体を捧げ
快楽を甘受する悦びに流されていくだろう

あっ♡
あっ♡
あっ♡

ぐわっ♡
ぐわっ♡
ぐわっ♡

ぐわっ♡
ぐわっ♡

ぐわっ♡
ぐわっ♡
ぐわっ♡
ぐわっ♡

昼も夜も犯す
犯したいときに
気の済むまで使う

限界まで快楽を引き出された
私の肉体をこの女は嬖嬢として
犯し続けるのだろう

この女は容赦などしない

日々限界を試すかのように
私に快楽を与え続け

壊れかける私を見て昂ぶった情欲を
私の体で処理するのだ

この女に与えられる限界の快楽……

一体どれ程の幸福感が……

そんなことを毎日していたら
私の肉体であっても
さほど長くは持たないだろう

おっ♡

おっ♡

うお♡

だがこの女はたとえ私が廃人となっても
私の肉体を使って性処理を続けるだろう

いや…脳が壊れる方が
早いかもしれない

廃人でも性器は使える
多少壊れた程度ではこの女は
陵辱を止めないだろう

ヘニスを慰められるのであれば
私という肉便器は利用価値があるのだ

壊れた私を使い
まるで一生分の精液を排泄するように
私の中に情欲を吐き出し続けるのだろうか

私の肉体はきつと悦んで
その陵辱を受け入れるのだ
肉便器として利用され続けた私には
性処理に使われる事こそが
至上の幸福なのだから



抜きたく……ない
この……幸せを与えてくれる肉棒を……
ずっと……ずっと……挿入していきたい……



まだ……硬い……





ふむ……
オレにはマツタ
ワからないな

だがケイカクどおりに
するしかないか……



こんな森の奥に……
一体何の用だ？



奴の隠れた別宅でも
あるのか？

だとすれば『アレ』が
手に入るかもしれない





さて
何が出てくるのやら



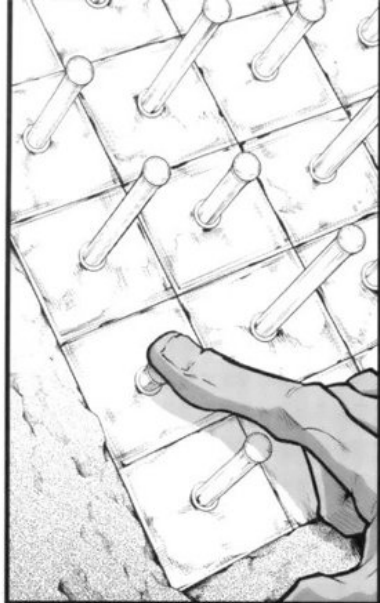
こんな物が……

奴を監視し始めてから
初めて訪れる場所だな



随分と暗いな
……あそこか







足場が無



まるで生物だ
この場所はいったい



何なんだ
この割れ目は!?



フワ

なんとか
抜け出さなくては

食道は蛇腹状に構成されている
喉頭筋の不必要に見える発達は
嚥下に支障をきたす様々な状況
……いや想定された状況に
対処するための物だ



抵抗力の強い獲物を
第一の胃へ送り込む為に
その強力な喉頭筋が役に立つ



ブル

ブル

ブル

獲物が食道に引っかかるように
異常なまでに強い蠕動運動で
奥へ奥へと獲物を飲み込んでいく





特殊な体液によって不純物を溶解する 体液を抽出して実験を試みたが同様の作用は確認出来なかった



異物を取り除く手段は実に興味深い



体液に含まれる微生物が体の発する何らかの信号に共鳴し 正しく機能するものではないかと推察する



凄まじい力で吸い込まれている！
なんなんだこの穴は



装備が…溶けている？



とにかく早く引き抜かなくては!!



いや…落ち着け
痛みがない
皮膚は無事だ

酸!?



これ以上何か起きる前に

装備が溶ける速度が速い
……これは下半身の
装備はもう溶けきってしまっ
ているだろう



だがこの液体が潤滑油
として機能する
少しずつだが
引き抜けてきている



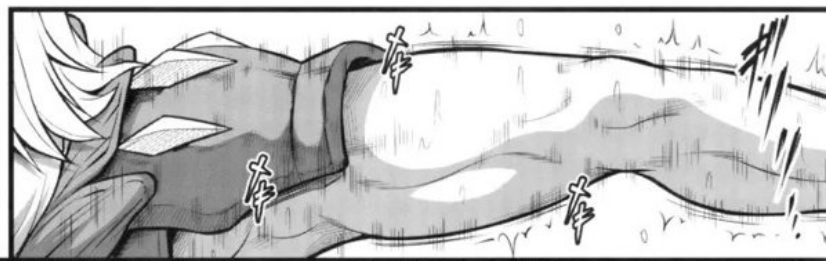
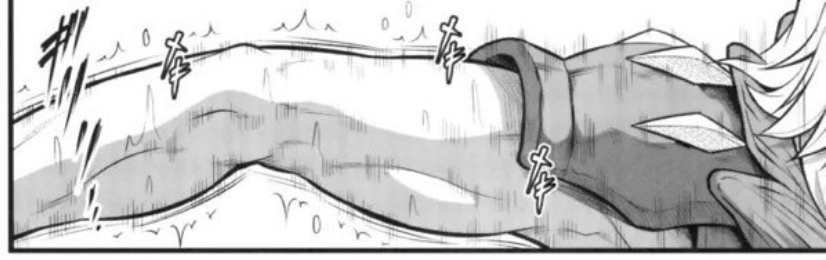
なんていう力だ
気を抜いたら
一瞬で引き込まれる



このまま一気に引き抜く



食道の引っかかりが取れない際には



なにか……
なにかが下半身に……



なんだ!?







触手には刺胞があり異物の形状に対して効率的に満遍なく毒を注入していく

襞の中にある弁は普段閉じているが異物が留まるとその部分だけ開き中から細く半透明な触手が伸びて異物に絡みつく



毒と言っても肉体に害を与える物ではない多幸感を得るための麻薬に近い物だ刺された者は抗いがたい幸福感に包まれ夢見心地になるだろう

体への害を一切出さずに凄まじい多幸感を対象へ与えるこれ程の薬物を作る事は俺であっても不可能だ……正に神秘の技だな



もしもこの触手が粘膜にでも
侵入しようものなら



その多幸感に流されずに抗うのは
人間には不可能だろう……



仮に耐えられるほどの強靭な精神力を
持っていたとしても いずれは決壊する



瞬間^{シュンジ}にその者^{モノ}を
天国^{テング}へ連れ去^{ツク}るだろ^ウ

性的絶頂に似たその快感は
女が感じる事が出来る
性の絶頂の数十倍ほどとみられる

苦痛の類いであれば
あるいは耐えられる者も居るのであろう
だが瞬間的に襲ってくるその快感ならば
どれほどの強者であろうと
即座に無力化できるだろう



神カミの如ゴトき遙ハルか太古タイコの龍リウは
何ナニを持モつてその神性シンセイを示シメしたのか

城壁ジョウヘキをも引ヒき裂サく爪ツメか？
鋼鉄コウテツの塊カガリさえも噛カみ砕クダく牙キバか？
それとも町マチを瞬時シュンジに焼ヤき尽ツくすブレスか？

否イナ そんな物モノは副次フクジテキ的な機能キノウに過スぎない
最も重要モトなのは『消化器官ショウウカキカン』だ



そう……
竜機兵^{リウキヘイ}・イコール・ドラゴン・ウエボン^{ウエボン}
の真^{マコト}の価値^{カチ}は強^{キョウ}靱^{キツ}な器^{ウツ}の『中身^{ナカミ}』にこそ
あるのだ

TO BE CONTINUED

ソロハンターの生態 WORLD 12



発行 YokohamaJunky

発行者 魔狩十織

発行日 2024.12.30

印刷 ねこのしっぽ

web <http://yokohamajunky.com/>

email mail@yokohamajunky.com

※この物語はフィクションであり、実在の人物団体及び各種設定も一切関係ありません
尚、18歳未満の閲覧、購読は禁止です

ソロハンターの生態 WORLD 12

presented by Yokohama Junky